

## 第3章 相鉄新横浜線・拡張東海道本線

### 第1節 相鉄新横浜線（西谷～羽沢横浜国大）

#### 拡張東海道本線（羽沢横浜国大～生麦）

2021年5月3日（月）晴れ、憲法記念日の本日、多摩川の土手沿い歩きから早いもので21歳の誕生日を迎える。その記念として、昨年相鉄線の拡張路線（西谷～羽沢横浜国大：営業キロ2.1km）と新横浜貨物線を活用したJR線（羽沢横浜国大～鶴見界限（生麦）：営業キロ8.4kmと類推）をつたい歩きし、コロナ禍の中頑張る。



※西谷駅



※西谷駅

今回の鉄路は、大半が地下のため、線路や電柱による”鉄道歩き案内人”が不在で悪戦苦闘。しかし、地元の人のお蔭で、当初予定していた、次の目的地経由で、西谷～生麦までを無事踏破できる。本日の歩きで、通算営業キロは1万1千872km（歩き日数579日）となる。



※羽沢横浜国立大駅への路

各目的地の到着時刻は次の通り。

西谷駅（7:44）～羽前横浜国大駅（8:27）～片倉町駅（横浜地下鉄、9:28）～岸根公園駅（横浜地下鉄、10:13）～妙蓮寺駅（東横線、10:50）～大口駅（横浜線、11:27）～生麦駅（京急線、12:27）

①西谷駅から坂道が続く幹線道路先に羽沢横浜国大駅があった。また、沿線のところどころに、神奈川中央バスのバス停が目についた。8時17分、羽沢南バス停を通過。歩道もしっかりあり、羽沢横浜国大駅までは歩きやすいコースであった。



※羽沢横浜国立大駅



※羽沢横浜国大駅構内

②羽沢横浜国大駅から三枚町バス停（8:46）までは、右手に元新横浜貨物線、左手に東海道新幹線を見ながらの安定した歩きができる。しかし、ここから右手にある鉄道つたい歩きたい鉄路が地上から急に姿を消す。当初考えていた王道なコース（遠回り）を急遽とり止め、ウォーキングの醍醐味を楽しむため、これまでの第六感歩きによる近道のコースに変更する。それ故、急な山登りとなる。9時8分、小高いところにある県立城郷高校前を通過。山を上り下った先に横浜地下鉄のブルーラインの片倉町駅があった。ここは、数年前、ブルーラインを踏破した際の記憶が微かに残っていた。



※片倉町駅への路



※片倉町駅への路（鯉のぼりに出会う）



※片倉町駅、丸亀製麺

③しかし、片倉町駅から岸根公園への道筋を誤る。岸根公園と反対の三ツ沢上町駅方面に向かっていた。何となく変だと思い、犬を散歩させている人に聞いて大正解。案の定誤っていた。30分位ロスタイムが生じるが、地元の人お蔭で、水道道沿いにある岸根公園に10時13分到着できる。水道道は私の故郷発祥の丸亀製麺を曲がった先にあった。ウォーキングの醍醐味を味わうことができる。この辺りに岸根公園駅があるとのことであつたが、私の記憶には残念ながら100%消失していた。記憶というのは実に怪しいものだと思つて痛感する。岸根公園には親子連れの人々の姿があり、ゴールデンウイークのひとつ時を楽しんでいた。



※岸根公園、水道道





※岸根公園を背後に

④水道道の延長線には鶴見駅（8 km）があった。ここから、暫く水道道を歩く。前方に東横線（踏破済）の線路が見えてくる。東横線の妙蓮寺駅には10時50分到着。再度、水道道に戻り、東横線線路下（10時55分）を潜る。暫く歩くと、横浜線の線路が見えて来る。線路手前で右折する。11時21分、新横浜貨物線下を潜る。11時27分、横浜線の大口駅に到着。



※妙蓮寺駅、大口駅

⑤11時33分、横浜線の入江踏切を横切る。そして、入江川を渡る。11時42分、1号線に出る。11時44分、新子安二丁目交差点を通過。その先で、通行人の方に生麦駅への道筋をお伺いする。「トンネルを越えた先にあります」とのアドバイスを頂く。11時58分から数分かけ万歩計で558歩ある岸谷生麦トンネルを通り抜ける。ゆったりと

した歩道が続く。流石、横浜と感じた。12時7分、東海道本線、横須賀線、京浜東北線、横浜線、京急線の線路を跨ぐ。道なりに歩いた先に本日の終着駅の生麦駅があった。この駅は、立命館神川校友会の新年会の会場（養老の瀧）があった場所で、何度も1月に足を運んだ。ただし、コロナの影響もあり、本日残念ながらその姿は民家となっていた。ただし、2次会で何度かお邪魔した朱鷺はあった。



※岸谷生麦トンネル、横浜住宅街を背後に



※沢山の路線を跨ぐ



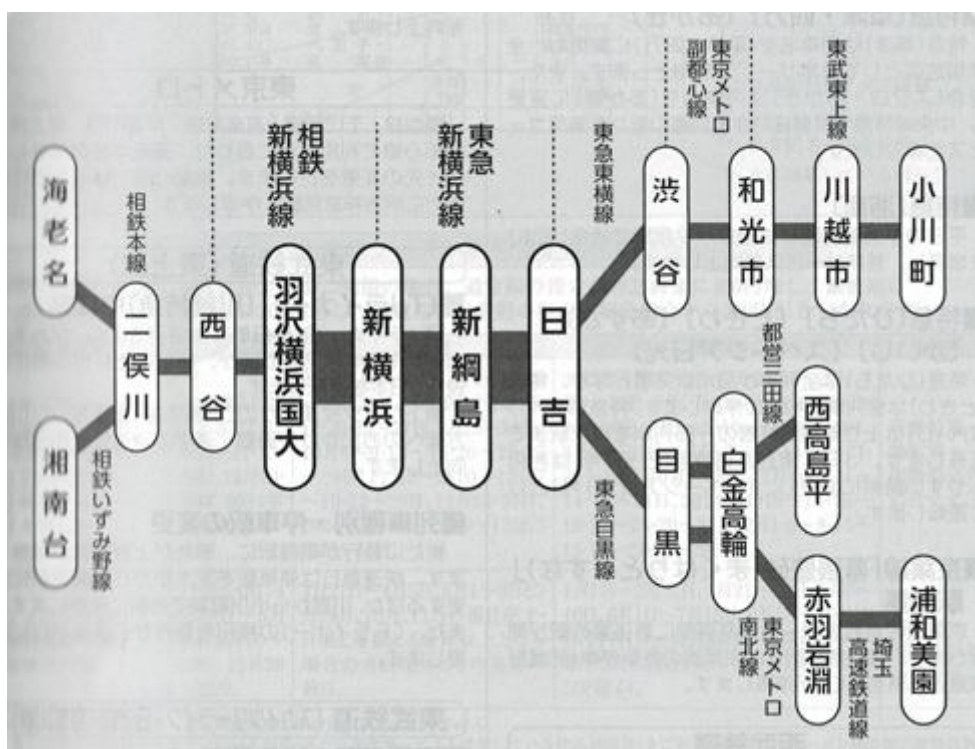
※懐かしや朱鷺と生麦駅

## 第2節 相鉄新横浜線（羽沢横浜国大～新横浜）

### <本日の概要>

2023年4月3日（月）晴れ、急遽思いつき、2023年3月18日（土）に開業した相鉄新横浜線（羽沢横浜国大～新横浜：営業キロ4.2km）と東急新横浜線（新横浜～新綱島～日吉：5.8km）に挑戦する。今、赤字路線問題で地方鉄道の廃線が騒がれている中、この路線を歩き終え、何か元気をもらったような気持ちにもなった。2023年3月12日（日）、BSフジで2時間にわたり、“甦れ！！岐路に立つローカル線”と題して放映があった。鉄道は採算問題で単純に解決されるものではない。地元の足、地方の連結、観光・文化の保持や発展などなど鉄道の使命は大きいと強く感じる番組であった。どうか永田町の先生方や地元自治体などが一丸となり、これ以上廃線にならないよう、また子々孫々に継承できるよう、大事な「津々浦々に続く日本の鉄道」の存続をお願いしたいものだ。同時に存続を強く発信したい心境から、“歩く鉄道作家”として日々鋭意努力し、日本の鉄道の素晴らしさや意義などを少しでも多く、カッシー館を通じて発信したいものだと夢膨らむ。





加えて、午後から、” 乗り鉄” と” 歩き鉄” の2面から、” 日本横断歩き鉄の旅” PDF読本の第50編に予定している埼玉高速鉄道や多摩都市モノレールのリベンジ50回目にも挑戦する。お陰様で生まれて初めて自宅を一周する下記のような旅も楽しむことができた。自宅～小田急（南林間～大和）～相鉄（大和～羽沢横浜国大～新横浜）～東急（新横浜～日吉～目黒）～南北線（目黒～駒込～赤羽岩淵）～埼玉高速鉄道（赤羽岩淵～戸塚安行～浦和美園）～山手線（駒込～新宿）～中央線（新宿～立川）～多摩都市モノレール（上北台～立川北～多摩センター）～小田急（多摩センター～新百合ヶ丘～中央林間）～自宅。

歩き鉄での各駅舎到着時刻は次の通り。これで通算営業キロは**1万4千468km（活動日数713日、日本の鉄道の52.2%、地球円周の36.1%）**となる。

<新横浜線（営業キロ10.0km）>

羽沢横浜国大(8:57)～新横浜(10:26)～新綱島(11:33)～日吉(12:12)

相鉄新横浜線：羽沢横浜国大～新横浜（4.2km）

東急新横浜線：新横浜～日吉（5.81m）

※新横浜線の登場により、新宿方面に加え、相模鉄道から東急線を経由し、西高島平や浦和美園方面にもアクセスができりようになった。



<多摩都市モノレール（営業キロ 5.7km）>

立飛(16:02)～高松(16:16)～立川北(16:36)～立川南(16:44)～柴崎体育館(16:58)～甲州街道(17:26)～万願寺(17:43)

<新横浜線（羽沢横浜国大～新横浜）>



※羽沢横浜国大駅

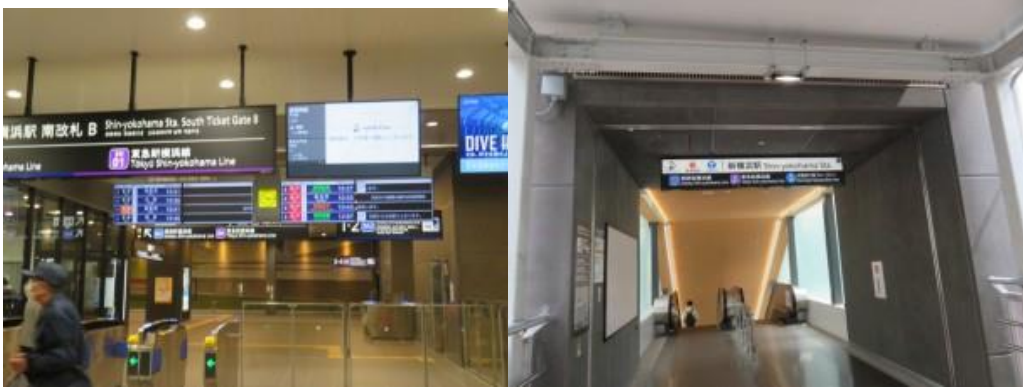
①羽沢横浜国大駅から新横浜駅までの相鉄線は東海道新幹線に沿った、桜が5分散りの国道13号線を歩く。9時21分、新幹線下を潜り、鉄道の左側となる。9時23分、八反橋を渡る。9時39分、横浜市神奈川区から港北区となる。横断歩道がない、複雑な構造になっている鳥山東歩道橋を9時46分渡り終える。その先に鳥山橋があった。更に、高架した橋があり、その橋を上る。10時2分、JR横浜線を跨ぐ。そして、鉄道に近づいた先にJR新横浜駅(10時8分)があった。新横浜駅構内を散策し、やっと相鉄新横浜駅と東急新横浜駅に10時26分到着する。新横浜駅はJR線の他に横浜地下鉄も合流しており、新横浜線の登場により、新横浜駅の利便性が更に高まった。



※新横浜駅への路



※新幹線に沿って、港北区に入る、桜を背景にして、背後新横浜駅

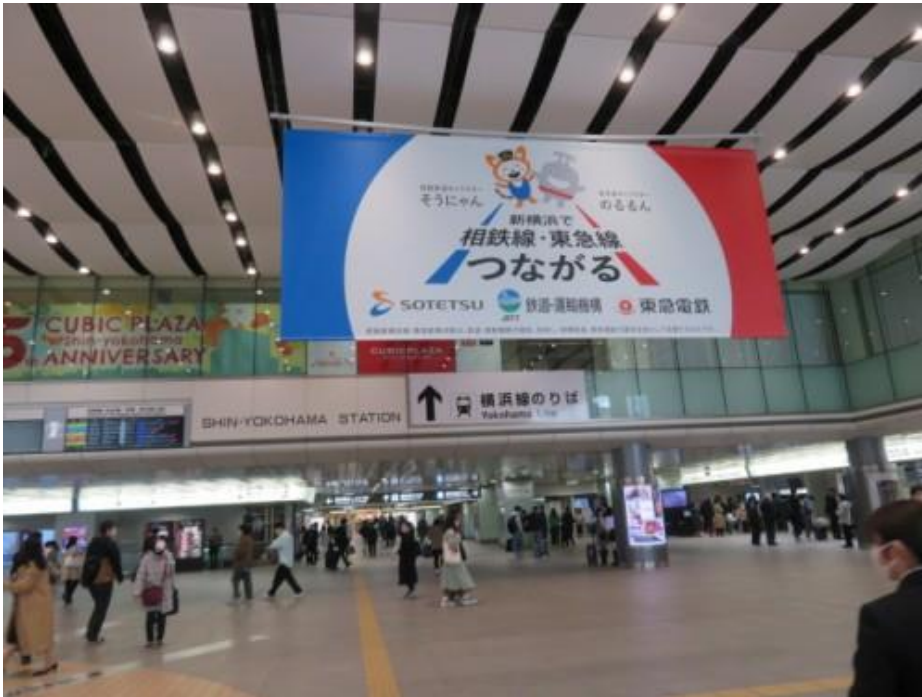


※相鉄新横浜駅、東急新横浜駅



※JR 新横浜駅





※新横浜駅構内

以下、東急新横浜線と多摩モノレールの旅日記は割愛。

### 第3節 拡張東海道本線（生麦～大崎）

2024年1月16日（木）曇り、急遽思いつき、2021年5月3日（月）歩いた相鉄線の拡張路線の積み残し課題に挑戦する。すなわち、4年前は西谷～羽沢横浜国大～生麦で終わっていた。”こだわり鉄道つたい歩き”PDF読本の第60作目として相模鉄道などを執筆予定。そのためには、相鉄路線の拡張路線を仕上げは不可欠と考え、次のような経路（生麦～大崎：営業キロ18.5kmと定義）で挑戦することとした。なお、東京時刻表によると、羽沢横浜国大から西大井までの拡張区間（20.1km）を「東海道本線」とあったので、ブログのタイトルに使用させて頂いた。本日の歩きで通算営業キロは、**1万6千196km（活動日数802日、日本の鉄道の58.5%、地球円周の40.4%）**となった。





※京急線の生麦駅

各駅舎到着時刻は次の通り。

京急生麦 (8:00)～京急鶴見(8:30)～鶴見(8:31)～新川崎(10:16)～武蔵小杉(11:14)～西大井(14:07)～大崎(15:00)

※1. 生麦～鶴見：1.6km、鶴見～新川崎：2.2km、新川崎～大崎：14.7 km

※2. 東戸塚～大崎 (31.9 km) は、2003年8月30日(土)踏破済み。

※3. 西大井～品川 (3.6 km) は、2024年5月4日(木)踏破済み。

①本日のコースは22年前に歩いたコースであったが、当時の記憶は殆ど忘却の彼方となっていた。唯一記憶にあったのは、新川崎駅界隈の残像と武蔵小杉から西大井にかけて横須賀線と新幹線が並走していたこと位。生麦駅は京急線踏破で立ち寄った駅。そして立命館神奈川校友会で新年会でも。それ故、馴染みがある駅である。8時この駅をスタート。京急線に沿って歩く。8時13分、京急線の花月総持寺駅前を通過する。国道1号線に合流する。8時16分、鶴見線下を潜る。その先に国道駅があった。京急鶴見駅には8時30分到着。目と鼻の先にJR鶴見駅があった。



※京急線の花月総持寺駅を目指して



※花月総持寺駅、鶴見線の国道駅



京急鶴見駅



※鶴見駅、東口から西口へ

②鶴見駅から少し歩いた先で、鶴見駅東口から西口に変更する。10分位ロスタイムが生じる。14号線を歩く。8時53分、豊岡小学校前を通過。9時15分、十字路交差点で国道1号線に方向転換する。本日持参した地図が功を奏する場面であった。9時18分より、万歩計で198歩ある鶴見川を渡る。9時18分、横須賀線を跨ぐ。9時21分より横須賀線を左手にしてつたい歩きを開始する。9時45分、JR線下を潜る。9時50分、左手下に新しい線路が登場する。恐らくこの線路は”拡張の東海道本線”と旅日記執筆の際気付く。江ヶ崎跨線橋を渡る。高架した横須賀線下を歩く。10時7分、羽沢横浜国大方面に向かう相鉄線車両と遭遇する。新川崎駅には10時16分に到着する。



※鶴見川への路



※横須賀線の線路脇に出る、線路を左手に歩く





※東海道本線の線路、江ヶ崎踏切を横切る



※新川崎駅

③10時25分、羽沢横浜国大方面に向かう相鉄線車両と再度遭遇する。10時41分、みゆき跨線橋でJR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。10時47分、前方の高架した線路を新幹線が通過する。ここから大崎まで新幹線が友となる。新幹線下を左右にしながら武蔵小杉駅に向かう。武蔵小杉駅には11時14分到着。駅界限には高層のマンションが多数あった。



※武蔵小杉駅の路





#### ※武蔵小杉駅

④うっかりして、昨夜地図をコピーした東京編をロストする。それ故、ここからナビを頼りに進む。11時39分、2号線を歩く。五反田8km、桜田門16kmと記した標識前を通過。11時40分より、718歩ある丸子橋（多摩川）を渡る。左手には東急線、右手には新幹線・横須賀線があった。



#### ※丸子橋を渡る

⑤丸子橋を渡ると、東急多摩川線の線路が道路下に見える。12時5分、沼部駅に到着。誤って線路を横切る。前方には多摩川の土手が登場する。方向性を誤り、少しパニック状況となる。運よく、郵便局の職員さんと対面し、西大井駅の方向性をお伺いする。ここで、第六感が働き、横須賀線に沿って歩けば、西大井駅に到着できると思いつく。早速、新幹線と並走する横須賀線の線路を見つけ、鉄道つたい歩きに切り替える。この決断が功を奏す。地図やネットを頼らずに歩ける。鉄道や電柱が鉄道案内人になったからである。12時17分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。12時32分、入船橋界隈で東急池上線の御嶽山駅に立ち寄る。道路下を新幹線と在来線（横須賀線・湘南新宿ライン）があった。12時50分、東雪児童公園前を通過。13時2分、相生坂を通過。この界隈の

富士見橋で土豪を走る新幹線写真の撮影に成功する。13時23分、馬込橋を通過。13時31分、蛇坂界限を通過。くねくねした路地を歩き、13時39分、急な坂に沿って、たぬき山公園前があった。ここからも再度くねくねした路地を歩く。何度も袋小路に遭遇し、引き返しを余儀なくされる。13時48分。いつの間にか在来線と新幹線が交差して、歩く方向からの順番が変わっていた。13時55分、新幹線が高架となり、その下を在来線が走るポジションとなる。14時7分、やっと西大井駅に到着する。それにしても、武蔵小杉駅から西大井駅は難解な道筋であった。



※京急多摩川線、沼部駅



※天祖神社を經由し、JR線路脇に出る



※東急池上線の御嶽山駅、大田区立東雪児童公園



※土豪を走る新幹線！！在来線と線路幅異なる



※たぬき山公園への路



※くねくねした路地を歩く





※西大井駅

⑥西大井から大崎までの区間は、2003年8月に続き、2024年5月でも通過した地点であったので、お陰さまで花道を飾るような心境で歩くことができた。14時26分、東急大井町線の下神明駅前を通過。この界隈のコンビニに立ち寄り、遅いランチとする。14時34分、品川中央公園前を通過。道路を挟んで品川区役所があった。この界隈は高台となっており、品川の街並みが一望できる。14時43分、在来線下を潜り、鉄道の左側を鉄道に沿って歩く。淡々と歩いた先に大崎（15時）があった。駅前には出店があった。万歩計は45,307歩とあった。



※京急大井町線の下神明駅、しながわ中央公園





※品川区役所、品川駅界隈が一望



※大崎駅への路



※大崎駅

⑦大崎 15時14分発の相鉄海老名行きに乗り、拡張の東海道本線を活用し、羽沢横浜国大駅経由で自宅を目指す。運よく、西谷駅で特急の接続があり、大和駅には15時58分到着。小田急線とバスも上手く連結しており、自宅には16時22分到着。相鉄線の拡張路線の利便性を肌で強く感じた一日となった。同時に何事も最後までやり抜き整理整頓することは、重要であると強く感じた一日となった。特に、帰りの電車は、本日歩いた場面をダイジェスト版で振り返りえることができ感動する。日帰りの旅とはいえ、旅は良いものですね。



※15時14分発の海老名行きに乗車



※西谷駅で特急海老名行きに乗り換える